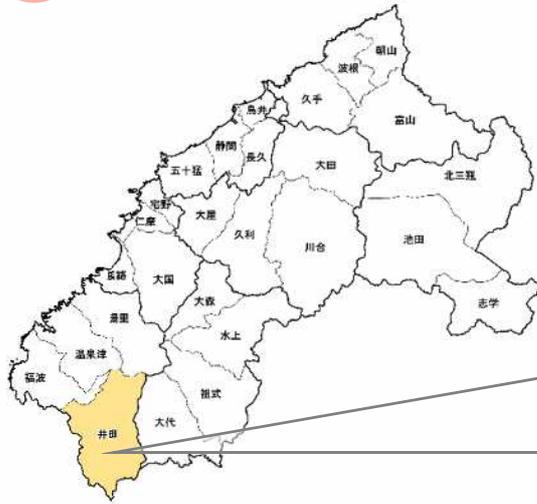


# 地域と企業の協働による生活機能確保モデル構築事業(事例)

## 【大田市温泉津町井田地区】

井田地域自治会×株式会社バイタルリード

### 01 地区の概要



【位置】大田市南西端

【人口】533人(令和2年時点)

【高齢化率】54.78%

地域内を走る市の生活バスはスクール機能を中心とした経路・時刻のため、高齢者等の日常生活の移動手段確保が課題となっていた。

地域の移動手段確保と、「地域の足を自分たちが守る」ための地域経済活動や住民交流を促進する取組を進めている。

### 02 井田地区の事業モデル【地域交通を支える小さなビジネスづくり】

#### 地域(井田地域自治会)

##### <役割>

- 地域住民への呼び掛け、地域づくりへの意識醸成
- 本事業への参画

##### <リソース>

- 豊富な地域資源(特産品等)
- 様々な知見や技術をもった住民



#### 企業(株式会社バイタルリード)

##### <役割>

- 事業全体の運営
- 住民ワークショップの企画
- 特産品開発等に係る関係法令の調査
- 外部との調整(地元中小企業、特産品開発のコンサルタント等)

##### <リソース>

- 地域づくりや住民の合意形成に係る知見
- 新規事業立ち上げの知見 等



地域(井田地区)のリソース(人・モノ)と、企業(株式会社バイタルリード)のリソース(地域づくりや新規事業立ち上げの知見等)を掛け合わせ、地域交通の確保※と、地域交通を支える小さなビジネスづくり事業を実施。

※地域交通の確保は別事業で実施

### 03 成果と今後の展開

#### ● 成果

- 住民ワークショップで出た“住民のやりたい！”を実現するため、井田地域自治会が中心となり、関わる住民を少しずつ増やしながら特産品の試作開発や地元中小企業からの作業受注を推進。特産品開発や地元中小企業の開拓等は外部専門家の知見を借りつつ、地元住民の巻き込みやまちづくりの意識醸成は井田地域自治会が主体となり実施。両者の資源を最大限に活用しながら、まちづくりの基盤を築くことができた。
- 本事業をきっかけに、井田地域自治会が組織編成し、まちづくりに係る活動全般を仕切る位置づけに。さらに、井田地域ビジョンを策定し、既存組織の役割を明確にしたことで計画的にまちづくりを遂行する体制を整備した。

#### ● 今後の展開

- 特産品の販売や企業とのやり取りを行うにあたり、責任範囲と責任の所在を明確にするため、任意団体(自治会)ではなく法人化を目指し、2022年1月に「企業組合井田屋」を設立。これまでの取組を更に進めていく。

# 地域と企業の協働による生活機能確保モデル構築事業(事例)

## 【大田市温泉津町井田地区】

井田地域自治会×株式会社バイタルリード

04

### モデル事業の実施内容

#### <令和元年度>

9月

井田いきいきプロジェクト（小さなビジネスづくり）発足

10月

#### 第1回住民ワークショップ

地域住民が取り組みたいまちづくりを共有するワークショップを開催



11月

#### 第3回住民ワークショップ

地域製品の試食をしながら、だれが・どこで・なにを・どのように実現するか具体的なモデルづくりを実施



1月

#### 第2回住民ワークショップ

取り組みたいまちづくりテーマ毎にグループ分けをし、実現するためのアイデア出しワークショップを開催



2月

#### 若者ワークショップ

20～50代の若手住民が集い、地域の良いところ・未来に残したい資源について意見交換



3月

#### <令和2年度>

4月

SNS (Instagram) を活用し、取組の情報発信を開始

5月

#### 農産加工品開発チームの試作品づくり

地域秘伝の「焼き肉のタレ」の製品化に向けた試作、包材やパッケージの選定



6月

#### 令和2年度キックオフワークショップ

- 農産加工品チームの目標設定
- 手作り工芸品チームの意見交換会



7月

#### 手作り工芸品・作業受託チームの作業会

地元企業からの作業を受託し、まちづくりセンターで月に1回作業会を開催



8月

#### 自治会役員ワークショップ

井田地域自治会メンバーで、持続可能なまちづくりを行うための意見交換会を実施



10月

#### 井田地域ビジョンが完成!

- 住民ワークショップの意見をもとに、井田地域ビジョンを作成
- 全戸配布し、地域全体でまちづくりを推進する体制を構築

11月

#### 住民への成果報告会

- 試作品の焼き肉のタレの試食会・アンケート調査
- 手作り工芸品チームの展示



12月

#### まちづくりの調整役(集落支援員)が誕生

集落支援員が配置され、井田地域自治会が推進するまちづくりや小さなビジネスの事務作業、住民との調整を担うことに

1月

2月

3月